

# Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

## 応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号 継続 19

会社名・団体名等 日本植生株式会社

受賞年度 2017 年度

取組等の名称	「間伐材利用植生マット」	
活動の種類	○	間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）
		間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
		環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
受賞の内容 (概略)	崩壊斜面やのり面緑化資材として多く活用される植生マットに保水剤の代わりに間伐材を木毛状にして装着したもので、従来は鉱物系あるいは化学系保水材を活用していました。間伐材を木毛状にしたものを活用することにより、自然木材の自立呼吸運動により吸放水を繰り返し、植物の生育に必要な水分をごく自然に取り込むほか、木質繊維は高い浸食防止効果を発揮します。間伐材の利用促進及び地球温暖化対策、環境負荷低減に寄与する緑化復元用製品です。	
受賞後の展開 (受賞から現在まで)	受賞後、専用のリーフレット・タペストリーを製作し、従来以上に間伐材利用植生マットを特に公共工事を所管する森林管理署や県をはじめとする自治体へアピールしました。和歌山県では、従来商品では植生が困難だった海岸において、本製品により期待以上の緑化が成立する等効果があり、他地域でも少しずつ活用が広まってきています。但し、間伐材木毛を活用する製品は従来製品より高価となるため、製造コストを極力カットして安価に提供できるようにすることが今後の課題です。	
今後の展開 (現在から未来へ)	間伐材木毛の緑化にたいする効果は未知な部分が多く、更なる研究・検証を進めます。間伐材木毛の調達地域を増やし、製造工場までの輸送コストカットを検討するほか、特に「地域の資源循環サイクル」が活性化し更なる間伐材の活用促進につながるよう、「緑化」という側面から本課題解決にむかい研究開発を進めます。ぜひとも期待していただきたいと思えます。	
取組の実績	間伐材利用植生マット、主要 7 製品の実績（※2019 年度は上期のみ） 2014 年度 27,824kg/390,826 m <sup>2</sup> 、2015 年度 22,537kg/309,263 m <sup>2</sup> 、2016 年度 22,513kg/346,358 m <sup>2</sup> 2017 年度 23,780kg/334,506 m <sup>2</sup> 、2018 年度 19,147kg/264,006 m <sup>2</sup> 、2019 年度 8,129kg/125,055 m <sup>2</sup> ※公共事業の発注量増減に左右されやすいが、今後、民間市場でも活用を増やしたい考え。	
その他	本商品は、山を健全に保つために切り出された間伐材を木毛状にして緑化用製品に装着しています。災害等で崩壊した場所の緑化復元に本製品が活用されることにより、「山から出た間伐材が緑化基礎として山に還る」を実現した資源循環型緑化製品です。緑化による国土保全と環境創出により間伐材による人々の安心できる暮らしの創出を図っていききたいと考えます。	
取組、製品等の 写真、図表等	 間伐材利用植生マットで間伐材を山へ循環させる  木毛状に加工された間伐材	

連絡先等 (公表可能な範囲でご記入下さい)	(住所) 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目14-33 TCSビル3F-A (担当部署等) 環境緑化部 大阪営業所 (電話番号等) TEL:06-6388-8283 FAX:06-6388-8449 (URL) <a href="http://www.nihon-shokusei.co.jp/">http://www.nihon-shokusei.co.jp/</a>
--------------------------	---